

## わけぎ

農薬取締法上、「ねぎ」、「わけぎ」、「あさつき」はそれぞれ別の作物である。

—— 発病・加害時期  
 == 発病・加害最盛期

作型・病害虫名		月											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
普通	発病・加害時期	■		■		■		■		▲	■		■
	発病・加害最盛期	■		■		■		■		▲	■		■
	定植									▲			
	収穫												■
べと病	とび病				—	—							
黒斑病	シロイチモ												
ネギハモグリバエ	ネギアザミウマ												

## べと病

### 留意事項

- 1 アミスター20フロアブルは、浸透性を高める展着剤を加用しない（薬害）。  
 QoI剤（**1 1**）は、耐性菌が出現しやすいので、1作1回程度の使用に努める。

### 防除方法

- 1 排水を良好にする。
- 2 苗床の発病株を除去する。
- 3 被害株は早めに除去し、ほ場外へ持ち出し処分する。
- 4 発生が見込まれる時期に、下記の薬剤を予防的に散布する。
  - ・ **ダコニール1000** **M 5** 【1,000倍 14日／2回】
  - ・ **ランマンフロアブル** **2 1** 【2,000倍 3日／3回】
- 5 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
  - ・ **アミスター20フロアブル** **1 1** 【2,000倍 7日／4回】
  - ・ **アリエッティ水和剤** **P 7** 【800倍 3日／3回】

## さび病

### 留意事項

- 1 春期と秋期の2回、比較的低温で雨の多い時に発生が多い。
- 2 菌は土壤中で越冬する。
- 3 アミスター20フロアブルは、浸透性を高める展着剤を加用しない（薬害）。

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

QoI剤(11)は、耐性菌が出現しやすいので、1作1回程度の使用に努める。

#### 防除方法

- 1 被害株は早めに除去し、ほ場外へ持ち出し処分する。
- 2 発病前から下記の薬剤を、予防的に散布する。
  - ・ [ダコニール1000](#) M5 【1000倍 14日／2回】
  - ・ [アミスター20フロアブル](#) 11 【2,000倍 7日／4回】
  - ・ [ラリー水和剤](#) 3 【2,000倍 7日／3回】
  - ・ [オンリーワンフロアブル](#) 3 【1,000倍 14日／3回】

### 黒斑病

#### 留意事項

- 1 アミスター20フロアブルは、浸透性を高める展着剤を加用しない（薬害）。  
QoI剤(11)は、耐性菌が出現しやすいので、1作1回程度の使用に努める。

#### 防除方法

- 1 被害株は早めに除去し、ほ場外へ持ち出し処分する。
- 2 発生が見込まれる時期に、下記の薬剤を予防的に散布する。
  - ・ [ダコニール1000](#) M5 【1,000倍 14日／2回】
- 3 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
  - ・ [アミスター20フロアブル](#) 11 【2,000倍 7日／4回】
  - ・ [ロブラール水和剤](#) 2 【1,000～1,500倍 14日／3回】
  - ・ [オンリーワンフロアブル](#) 3 【1,000倍 14日／3回】

### シロイチモジヨトウ

#### 留意事項

- 1 発生初期の防除を徹底する。
- 2 葉の内部へ潜り込む前に防除を行う。
- 3 薬剤抵抗性が生じやすいので、同一系統薬剤の連用は避け、ローテーション散布を行う。

#### 防除方法

- 1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
  - ・ [アフーム乳剤](#) 6 【1,000～2,000倍 7日／3回】
  - ・ [スピノエース顆粒水和剤](#) 5 【5,000倍 3日／3回】
  - ・ [アタブロン乳剤](#) 15 【2,000倍 21日／3回】
  - ・ [マトリックフロアブル](#) 18 【1,000～2,000倍 7日／3回】

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

## ネギハモグリバエ

### 留意事項

- 1 ダントツ粒剤、ダントツ水溶剤は同一成分クロチアニジンを含み、総使用回数は4回以内

### 防除方法

- 1 下記の薬剤を施用する。
  - ・ [アクタラ粒剤5](#) 4 A 【6kg/10a 作条混和 植付時/1回】
  - ・ [ベストガード粒剤](#) 4 A 【6kg/10a 植溝処理土壌混和 定植時/1回】
  - ・ [ダントツ粒剤](#) 4 A 【3～6kg/10a 株元散布 3日/4回】
- 2 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
  - ・ [ダントツ水溶剤](#) 4 A 【2,000～4,000倍 3日/4回】
  - ・ [アグロスリン乳剤](#) 劇 3 A 【2,000倍 3日/2回】
  - ・ [リーフガード顆粒水和剤](#) 劇 1 4 【1,500倍 7日/2回】

## ネギアザミウマ

### 留意事項

- 1 高温少雨の条件で多発する。
- 2 薬剤抵抗性が生じやすいので、同一系統薬剤の連用を避け、ローテーション散布を行う。

### 防除方法

- 1 下記の薬剤を施用する。
  - ・ [ダントツ粒剤](#) 4 A 【3～6kg/10a 株元散布 3日/4回】
  - ・ [アクタラ粒剤5](#) 4 A 【6kg/10a 作条混和 植付時/1回】
- 2 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
  - ・ [スピノエース顆粒水和剤](#) 5 【アザミウマ類 2,500～5,000倍 3日/3回】
  - ・ [リーフガード顆粒水和剤](#) 劇 1 4 【1,500倍 7日/2回】
  - ・ [アドマイヤーフロアブル](#) 劇 4 A 【アザミウマ類 2,000～4,000倍 3日/2回】
  - ・ [エルサン乳剤](#) 劇 1 B 【アザミウマ類 1,000倍 14日/4回】

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合がありますので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合がありますので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。